

まちの復興のシンボル「希望の鐘」とともに事業を再開 ～『きぼうのかね商店街』～

【 宮城県女川町浦宿浜地区 】

名 称 : きぼうのかね商店街
所 在 地 : 宮城県牡鹿郡女川町浦宿浜字十二神60番3
種 別 : 仮設事務所及び店舗
延床面積 : 820㎡
入 居 者 : 食品雑貨、青果、衣料、家電、理美容業等
区 画 数 : 20区画
建物構造 : 軽量鉄骨造1階建て
事業開始 : 平成23年11月7日
完 成 : 平成24年1月12日
供用開始 : 平成24年1月12日

女川町は、もともと平地が少ない町の地形特性のため、仮設施設を整備する土地の確保に苦慮していたが、関係機関の協力により中心部で確保可能な県立女川高校のグラウンドの使用許可を得ることができた。貴重な土地の有効活用を図るため、多くの被災商業者が集まることにより、ここに来ればほとんどの生活サービスが受けられる拠点形成を目指した。

きぼうのかね商店街は、①町が整備した仮設の銀行、郵便局、交番（全5区画）、②町商工会が整備した木造の仮設店舗（全30区画）、③中小機構が整備したプレハブ仮設店舗（全20区画）の3つのブロックから形成されているが、配置計画、建設順序、インフラ計画等については、町、商工会、中小機構、入居代表者、施工業者が一体となって検討を行い、全てのブロックが完成した後の平成24年4月29日に商店街としてグラウンドオープンしている。

仮設商店街には、震災前に女川駅前に設置された鐘が、瓦礫の中から発見された復興のシンボルとして設置されており、今では、被災地訪問のバスも立ち寄る名所となっている。

